



玉名ロータリークラブ週報

2017
12
2018



ロータリー：
変化をもたらす

R I 会長	■	イアン H. S. ライズリー
地区ガバナー	■	永田 壮一
会長	■	吉永 博之
幹事	■	渡辺 太朗
公共イメージ向上・IT委員長	■	西嶋 太興

例会日 ■ 毎週木曜日 / PM12:30~13:30

例会場 ■ 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺 50-1 司ロイヤルホテル内
TEL (0968) 73-8888 FAX (0968) 73-8008

事務所 ■ 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺 540-1-102
TEL (0968) 73-3399 FAX (0968) 74-3939

平成 29 年 10 月 12 日 No.2361

玉名 RC メールアドレス jimu@tamanarc.org

ホームページ <http://www.tamanarc.org/>

【来訪者紹介】 吉永会長

浄土真宗本願寺派 西養寺住職 亀原了圓様

【会長の時間】吉永会長

今回は地域の観光の話です
菊地の「イデベンチャー」を紹介します。
菊池水源からの農業用の水路をカヌーで下ります。
9月で今年は終了しましたが来年にお子さんと
チャレンジしてみたいはかがですか？



自然の中の井手下りアドベンチャー！

「イデベンチャー」

<https://kikuchikanko.ne.jp/taiken/k005.html>



昼食は菊池地域おこしのランチ「菊池井」です。

【幹事報告】 渡邊幹事

○熊本北 RC より例会変更のお知らせが来ています。

日時：11月 13日（月）18：30～

場所：熊本ホテルキャッスル

○熊本菊南 RC より例会変更並び取り止めのお知らせが来ています。

11月 1日（水）⇒祭日週により休会

11月 22日（水）⇒祭日週により休会

11月 29日（水）⇒12月 1日（金）熊本第2グループ IM へ変更

○熊本東 RC より例会取り止めのお知らせが来ています。

10月 31日（火）12：30～定款第8条に基づき取り止め

○玉名市青少年育成市民会議より平成 29 年度玉名市「青少年の主張」弁論大会の開催についてご案内が来ています。

日時：10月 29日（日）受付 8：30～

会場：横島町公民館 多目的ホール

【委員会報告】 青少年奉仕委員会 堀本委員長

世界の子どもたちへのポリオ予防接種の支援活動として、玉名女子高のインターアクトクラブでは、現在ペットボトルのキャップ集め、またアルミ缶集めを行っています。わたくしたち玉名 RC でもキャップ・アルミ缶集めに協力していきましょう。

先週 10月 7日に第 2720 地区ローターアクト年次大会に出席してきました。元ソフトバンクの松永選手の講演会など盛大に盛り上がった大会でした。さて玉名ローターアクトクラブですが、やがて 30 歳をむかえる方が多く今後会員数が減少することになります。なのでわが玉名 RC でもアクトのメンバー増強に協力していきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

【スマイル報告】 河田委員長

吉永会長・渡邊幹事・・・亀原了圓様のご来訪心から歓迎致します。

村上さん・・・亀原了圓様の卓話、ありがとうございます。お久しぶりです。

楽しみに出席しました。

田畑さん・・・西養寺、亀原様のご来訪心から歓迎致します。卓話ありがとうございます。

田原さん・・・9月 23日、娘が結婚しました？無言

深見さん・古賀さん・・・西養寺住職亀原了圓様のご来訪心から歓迎致します。仕事の都合上欠席します。

高木幸さん・・・亀原了圓様のご来訪心から歓迎致します。

杉谷さん・・・亀原了圓様のご来訪心から歓迎致します。来週は、出張の為、欠席します。

鶴田さん・・・本日、業務の為早退いたしますのでソーリースマイル致します。

山田司さん・志賀さん・吉岡さん・井上さん・松崎さん・小山さん・堀本さん・・・亀原了圓様の卓話、ありがとうございます。

前回までの累計	¥262,000
今 回	¥ 28,000
合 計	¥290,000

【出席報告】 河田委員長

本日の出席	会員数	50 (45) 名	欠席者	深見 本田 廣田 河田 古賀 村田 前島 中嶋 西村 野田 坂梨 田中 瀧川 浦田 上村 上田継 山口 山村
	出席数	27 名		
	出席率	60.00%		
前回の出席	前回出席数	31 名	前回のメイクアップ	
	修正出席数	31 名		
	修正出席率	67.39%		
出席規定適用免除者		8 名		

【今後のプログラム予定】

R 財団・米山奨学委員会企画 米山卓話

【卓話】 西養寺住職 亀原了圓様

亀原了圓(かめはらりょうえん)と言います。荒尾の西養寺で住職、本井手みのり保育園の園長をさせていただいております。今日ここには青年会議所時代の玉名の先輩方もいらっしゃいますが、この同年代の友達にわたしがいつも言っていることがあります。「釈尊でも親鸞でもいいので仏教の本を読んでみてお寺参りしてみたら？」ということです。

でも友達は「いや今はインターネットがあるからそれを読むよ」と返します。しかし私は断言します。宗教・信仰というのは知識・教養ではありません。心を磨く作業なんです。ネットから知識と教養は得ることはできますが心は磨けません。お寺の本堂に身を置くことで心を磨く作業は始まります。これは理屈ではありません、おばあちゃんからよく聞く言葉に「お説教は身体で聞きなさい。耳や頭で聞くと間違うから」があります。毛穴から仏法が染み込み、身体から「おかげさまで！」がにじみ出てくるんです。目に見えないところに働く力に気づく、そういう感性を「おかげさま」と表現します。

宗教というのはアクションなんです。高野山へ登る、お遍路さんに行く、写経する、いわゆる「ライブ」

なんです。毎年玉名へ来るミュージシャンの松山千春、彼は多くの名曲をもってまいりますがコンサートも欠かさないです。人前で歌って同じ時間・空間を共有することを大事にします。宗教も同じ「ライブ」なんです。ネットの文字から入ってくるのは知識なんです、信仰は自分のアクション、ライブなんです。

今日の卓話とか講演、これとお説教はまったく違います。講演は肩書きがある人間のお話しです。お説教は仏法、仏様のお話しです。今日の卓話ですがわたし亀原の話しをしてるのではありません、仏法をお伝える話しをしているんです。これこそわたしの仕事なんです。なのでお寺など特殊な空間に身をひたし、仏法でお耳の鼓膜を震わせ心を熟成させる、それがライブであり信仰なんです。ネットは便利ですがこのライブ感は感じ取れないでしょう。

日本の家屋には神棚と仏壇、両方が混在してます。なぜ神様と仏様といるのでしょうか？神社と仏閣の違いってわかりますか？神社へ行くと、「商売繁盛」「学業祈願」「無病息災」「交通安全」といいイメージです。が、お寺へ行くと「諸行無常」「栄枯盛衰」と死に関わることがイメージされます。神様と仏様の話って180度違うんです。そんな神棚と仏壇にお参りする日本人って不思議な民族ですよ。生まれたらお宮、亡くなったらお寺、クリスマスはする、とごちゃまぜです。宗教に対しておおらかであり、いいかげんでもあります。

仏教は6世紀に渡来した新興宗教として日本に入ってきました。その仏教には釈尊（シャクソン：お釈迦様）というスーパースターがいました。釈尊はせつなくはかなく人はいかにして生き抜いていくのかを問い詰めた方です。人はいつか老いて死ぬ、出会う数と別れる数は一緒だ、そんなはかない人生をどうやって楽しむか？を見つめ続けた思想家・哲学者のような方でした。

釈尊は悟りを開きます。「人間はすべてバランスだ。かたよらない心、こだわらない心、とらわれない心、この3つを意識して喜びも悲しみも平たく受け入れ、ぶれない心をつくり生きてみよ、そうすると豊かな心になれますよ」と問うてます。その釈尊という総合病院のもとへ悩みをかかえた患者が押し寄せました。ひとりひとり悩みをききながら問診しカルテを作成していきます。それが「お経」です。

法華経・般若経・大日経など多くのお経が日本へ入ってきました。法華経から日蓮宗が誕生します。つらいこと悲しいことは座禅を組んで耐えようというのが般若経です。人はしょせん煩惱であり何事も自分のことを中心にして考えてしまう、それを「南無阿弥陀仏」を唱えることで極楽往生ができると教えたのが浄土宗です。日本に入ってきたどのお経を読むかによって宗派が分かれてきました。

聖徳太子は中国からきた仏教を読んで、これは日本に取り入れるべきだと考えました。十七条の憲法第一条にはこうあります。「和をもって尊しとなす」何事も話し合いで平和に解決しましょうということでしょうか。また「あつく三宝を敬え」と書かれています。三宝とは仏・法理・僧侶のことですね。

江戸時代に入って仏教でもって葬式・法事をするのが義務化されました。私も毎回お葬式・法事セレモニーには曾呂として研鑽しておりますが、根幹の部分は釈尊の教えです。何をさとり、何を伝えたか、自分はどう一生を生き抜くのか、それを皆さんに伝えることなのです。

現代では「仏教＝死」のイメージが強くなりました。あまり死について語りませんよね。しかし仏教的に

言えば死を見つめたほうが良いと考えます。いつまでも有ると思っていると、その日がいいかげんな日になってしまう、では「死」をどう受け入れるか、そうすれば「生きること」はどんなにあざやかか、もしかしたらこの後、交通事故で死んでこの世にいないかもしれない、なれば明日という日がなんと限りなく大切なモノなのか、そう思ってきます。

「命を大切に」とよく聞きます。私ができる命の大切さといえば、時間を大切にすることです。1日を有効に使う、何もしない時間というのも必要ですね。あと私が大事にしたい時間の使い方ですが、自分の時間を他者のために使えるか、ということです。「ありがとう・ごめんなさい」と思う時間、「ありがとう・ごめんなさい」と言える勇気（時間）、そんな自分の時間を他者のために使うことを仏教では「菩薩道」といいます。

ちょうど山登りにロープもって何人かが進むように、自分も登っていくが後に続く人をも引っ張って進む。そして自分も前を行く人に引き上げられている、これが菩薩道です。菩薩道をまとった人間らしい生き方とされるのが観音菩薩（かんのんぼさつ）様です。菩薩さまのように生きてみよう、それが自分の人生を豊かにしていくのです。

いずれ人は死んでいきますが、終わるのは消えることではありません。先に行った父や母にお疲れさま、きつかったねって迎えられることなんです。打算や利害関係で繋がってるこの社会ですが、存在でつながっていることがいかに大事なかなのです。親子・夫婦関係っていうのは、おまえがそこにいてくれればいい、っていう存在を意識することなんです。

今日をよい機会として仏教を皆さん興味もってもらえればと思います。

